

# 氷見市議会厚生文教委員会会議録

令和5年9月14日(木)  
氷見市庁舎議事堂委員会室  
開会 午前10時00分  
閉会 午前11時30分

- 1 案 件 令和5年9月定例会において厚生文教委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名  
越田委員長、屋敷副委員長、福嶋委員、萩野委員、正保委員、澤田委員
- 3 委員外議員 積良議長、松原副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、川上次長補佐
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、篠田副市長、鎌仲教育長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、新井市民部長、泉澤教育次長、瀧井教育委員会事務局参事、森福祉介護課長、利光子育て支援課長、大野市民課長、粟屋健康課長、釜田病院事業管理室長、大浅環境防犯課長、萩原学校教育課長、山口教育総合センター所長、布尾文化振興課長、西島スポーツ振興課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
  - ・越田委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
  - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決または承認することに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
  - ・委員長報告の作成は委員長に一任され、特筆事項は無しとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和5年9月14日

氷見市議会厚生文教委員長



# 令和5年9月厚生文教委員会付託案件表

令和5年9月14日(木) 午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 学校教育課 10:00
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
学校教育課所管に係る事項……………説明書P. 20
  
- ◎ 文化振興課 10:28
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
文化振興課所管に係る事項……………説明書P. 22
  
- ◎ スポーツ振興課 10:31
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
スポーツ振興課所管に係る事項……………説明書P. 22
  - ・ 議案第60号 氷見市B&G海洋センター条例の一部改正について……………議案書P. 28
  
- ◎ 福祉介護課 10:39
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
福祉介護課所管に係る事項……………説明書P. 12
  - ・ 議案第58号 令和5年度氷見市介護保険特別会計補正予算(第1号)……………議案書P. 21
  
- ◎ 子育て支援課 10:53
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
子育て支援課所管に係る事項……………説明書P. 12
  
- ◎ 市民課 10:57
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
市民課所管に係る事項……………説明書P. 10
  - ・ 議案第57号 令和5年度氷見市国民健康保険特別会計補正予算  
(第1号)……………議案書P. 17
  
- ◎ 健康課 11:03
  - ・ 議案第53号 令和5年度氷見市一般会計補正予算(第4号)中  
健康課所管に係る事項……………説明書P. 14
  
- ◎ 病院事業管理室 11:17
  - ・ 議案第55号 令和5年度氷見市病院事業会計補正予算(第2号)……………議案書P. 13

【裏面へ続く】

## 主な質疑応答

学校教育課	
正保委員	<案件外>令和5年度全国学力・学習状況調査 氷見市の結果について富山県内でも先駆けて取り組んだ義務教育学校（西の杜学園）の設置について、現状成果は出ているのか
山口所長	確実に力が高まっているという資料はないが、学校訪問等で子どもたちを見たときに、英語で会話することが身につけてきているといったような成長を私自身は感じている。
正保委員	コロナ禍で地域教育が十分にできなかったという要因もあると思うが、4年前と比べてそのような場が減っているか。
山口所長	コロナ期間中は減ったが現在は戻ってきている。今年度の結果からも地域のために何かをしたいといった項目のポイントが高く、地域と関わりを持っている子どもが多いと感じている。
正保委員	氷見の特徴を生かした教育を先ほど取り戻していくとありましたけど地域に理解を求めて、これまで以上に積極的に地域教育を進めていっていただきたい。
山口所長	氷見市が大切にしているふるさと教育については、全カリキュラムを通して深く関わられるような創意工夫をしながら、今後も取り組んでいく。
荻野委員	毎年行っている調査なのか。
山口所長	毎年行っているが、以前と比べ内容は大きく変わっている。
荻野委員	昨年の正答率と比較してどうなのか。
山口所長	小学校は向上し、中学校は少し下がっているが、この調査は数値で優劣をつける趣旨の調査ではない。
荻野委員	学校別の数値は把握しているのか。小規模校の方が先生と生徒の親密感が高く教育環境も良いのではと思うが。
山口所長	学校別で把握はしているが、小規模校が必ずしも数値が良いわけではない。
澤田委員	結果について、あれこれ言って子どもたちが委縮するのも良くない。子どもたちを委縮させない教育が大事と思うがいかがか。

<p>山口所長</p> <p>澤田委員</p> <p>鎌仲教育長</p>	<p>結果の数値に左右されるのではなく、一人一人が伸びようと頑張っている姿をしっかり認め、励ますこと、一人一人の学習状況とか、意欲、生活環境など様々な視点から対応・支援を工夫して、自己肯定感を高めながら、子供たちの力を伸ばしていくことが、私達教師の役目だと思っている。</p> <p>結果の中で、学校へ行くのが楽しいとか雰囲気が良いといった報告もあったが、そのような事項について教育長はどのように捉えているか。</p> <p>一つ付け加えるが、14、5問の質問の結果を百分率で表しているのので、1問6%くらいになる。よって、1%2%の高低で判断するのはナンセンスである。くれぐれもこの今回受けた学年の子どもたちが学力低かったというわけではないということだけ誤解のないようにお願いしたい。</p> <p>教育長となったときに、アンケートで学校が好きだとか、ふるさどが好きだという数値が非常に低いことに危機感を持った。それが地域とのいろいろな行事活動を通して、だんだんと改善していることから、地域の方々が子供たちを支えてくれているおかげだなということを強く思う。地域の中で子供たちを育てていく、そういった行事等にはしっかりと取り組んでいきたいと思う。</p> <p>また、ICT機器の利用に関してちょっと数値的に低かったが、使用回数よりもいかに成果を上げるかというような使い方に切り替わっているところで、決してICT機器を使っている回数が氷見市は極端に低いということはないので、これも誤解のないようにお願いしたい。</p>
<p>スポーツ振興課</p> <p>荻野委員</p> <p>西島課長</p> <p>荻野委員</p> <p>西島課長</p> <p>荻野委員</p> <p>西島課長</p>	<p>氷見市B&amp;G海洋センター条例の一部改正について、施行日が令和6年4月1日ということは、それまでは従来通りで対応するということか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>休館日を月曜日から火曜日にした要因は何か。</p> <p>市民プール・トレーニングセンター及びふれあいスポーツセンターと休館日を合わせることで、管理運営をよりスムーズにするという趣旨で統一させていただくものである。</p> <p>ふれあいスポーツセンター長寿命化改修事業費について、昨年度の調査はいつ行ったのか。昨年度の調査で雨漏り箇所がわかったのであれば、当初予算に組み込めたのではないか。なぜ、今回の補正予算なのか。</p> <p>昨年度の6月補正予算で屋根の一部切り取って内部調査したところ、木材のところに雨漏りの痕跡があったことから調査範囲を広げて調査する必要があるということで、12月補正予算で内部調査を実施し、年度末</p>

	<p>に委託業者から構造材に腐食があるとの報告を受けたところであり、それを踏まえての今回の補正である。</p>
<p>健康課 澤田委員</p>	<p>インフルエンザ予防接種費用助成事業費について、接種助成が3,000円上限となっているが、実際にかかる費用はいくらか。</p>
<p>栗屋課長</p>	<p>3,000円から4,500円かかっている。</p>
<p>澤田委員</p>	<p>接種費全額補助にはならないのか。コロナが増加傾向にあることから費用負担を軽くして接種率を上げる必要があると思うが。</p>
<p>栗屋課長</p>	<p>他市の状況等を踏まえて3,000円上限としている。自由診療なので上げるとおかしくなる部分もある。接種率の向上については丁寧に広報をしていきたいと考えている。</p>
<p>正保委員</p>	<p>コロナの流行も第9波まできており、インフルエンザとの同時流行の危険性をいち早く市民に伝えることが一番の宿題ではないかと思う。いつごろを目標に段取りするつもりか。</p>
<p>栗屋課長</p>	<p>コロナについては現在、次の接種についての案内の発送作業をしているところであり、注意喚起のチラシも入れているので、そこで周知できると考えている。</p>
<p>環境防犯課 屋敷委員</p>	<p>&lt;案件外&gt;上田子浄水場の市有地について、廃棄物置き場になることを大変危惧している。環境の面から環境課としてはどのようにお考えか。</p>
<p>大浅課長</p>	<p>当該事業者については、金属くずなど有価物として買い取り、事業所内で一旦ストックして、そのまま売却するもので古物商の許可を持って営業している。このような業態は廃棄物処理事業には該当せず、また事業所としては、公害等、環境に関する法規制の対象施設ではない。</p> <p>環境防犯課としては、この事業者に限らず、その事業活動が環境に関する法規制の対象となるような事案などが生じたときは、すべからく法に基づき適切に対処していく。</p>
<p>屋敷委員</p>	<p>一度持ち込まれてしまうと、なかなかゼロにはならない。氷見の玄関口ということもあるので、環境のことも考えて注視していただきたい。</p>
<p>大浅課長</p>	<p>万が一その事業活動が環境に関する法規制の対象となるような事案などが発生したならば、そのときはすべからく法に基づいて適切に対処していく。</p>